
コース名：インターネットを利用した英語圏の
言葉と文化に関する授業設計と運用 (広瀬洋子)

対 象：一般教養関係の教員、特にメディアスキルが低い文科系教員のため

目 標：英語とインターネットおよび英語のオーディオビジュアル教材を利用した新しい形の授業の設計

研修時間：1日

研修内容：

海外のオーディオビジュアル教材とインターネット情報を組み合わせ、異文化理解を基礎とするモデル授業設計と、それをさらに各自がテーマにそって発展させる試みを行う

ラショナル：

現在、英語とインフォメーションテクノロジーの習得は、日本の教育全体の共通目標となっている。したがって、大学の英語演習のような授業においても、英語とITを合体させその上で実践的に作業をさせる授業設計が求められている。これは、英語科目のみならず、比較文化、異文化理解、国際理解、比較社会学といった新しい学際的な分野をも包含している。しかしながら、語学、文学、といった従来の教養課程の教官の中には、ITに対してアレルギーを持つものも少なくない。それぞれのテーマにそったインターネットサーチの方法と、インターネットの利用法およびオーディオビジュアルな教材とを利用した授業設計のモデルを提示し、参加した教官自身のアイデアを加えてそれぞれの目的にあったモデル授業の設計をさせ、お互いに評価させ、英語とITを合体させたより興味深い授業をつくり出していく。

パソコン導入を含むメディア活用による情報検索の有用性と面白さを実感させ、授業や自身の研究活動に利用していく動機をつくる。

備 考：

実習形態になるので、人数は15名前後。事前に参加者は自分の関心のあるテーマを用意し、その授業のポイントなどをまとめる。
